

九頭竜ダム湖・生態系保全のとりくみ

九頭竜川ダム統合管理事務所

九頭竜ダム湖では、近年外来種のコグチバスの繁殖が見られ、魚類等の生態系が変化しつつあります。また、下流のアユ等魚類を補食するカワウの大規模な営巣地が見られています。

九頭竜川ダム統合管理事務所は、福井県内水面総合センター、奥越漁業協同組合等と共同し、これら有害種に対し個体数調整等生態系保全の取り組みを行いました。

・コグチバス



急激な水位低下で
現れた産卵床



刺し網設置作業



捕獲されたコグチバス



刺し網設置後



採取されたコグチバス稚魚

・カワウ



カワウ営巣地と大群での飛翔状況



■コグチバス

実施日	捕獲尾数	備考
6月6～7日	24	ダム湖右岸
6月13～14日	20	ダム湖右岸
6月27～28日	10	ダム湖右岸
合計	54	

■カワウ

実施日	個体数調整	備考
6月11日	50	九頭竜ダム湖(越戸谷等)
6月12日	10	鷺ダム
合計	60	

6月初旬は晴天の日が続き、水位が低下する段階で産卵床がハッキリ見えるようになり、その数からコグチバスの繁殖の多さが伺われました。継続的な駆除・個体数調整の活動が必要です。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 九頭竜川ダム統合管理事務所
 九頭竜ダム管理支所
 〒912-0214 福井県大野市長野第33号4番地の1
 TEL 0779-78-2116



平成25年7月
 近畿地方整備局 九頭竜川ダム統合管理事務所